

社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会 TEL 77-4877・FAX 77-6220
E-meil : tachi-shakyo@kurume. ktarn. or. jp

大刀洗町ボランティアセンター主催

災害ボランティア講座が開催されました



食生活改善推進会の協力による
炊き出しミニ体験



グループワーク
「助け合う関係づくり」

7月23日(土)「災害ボランティア講座」が開かれ「もしも、大刀洗町が被災したら…風水害にどう備えるか・助け合える関係づくり」というテーマで、ふくおか災害ネットワーク・酒井澄彦氏を講師に迎え、「個人の備えと助け合える関係づくり」の必要性について学びました。

幸い大刀洗町は自然災害の少ない町ですが、いざという時に備えて避難場所の確認や家族の連絡方法等、個人でできる備えを見直すとともに、地域の中の日頃からの見守りや気遣える関係づくりなど隣近所の身近なところからすすめていくことが大切との事でした。

また、昼食をかねた炊き出しミニ体験ではグループごとに協力し合っ
て配膳し、昼食をとりながら災害時に役立つメニューや非常食などを学びました。

おもな内容

- P2 赤い羽共同募金のお知らせ
- P3 〈特集〉「住みたい町大刀洗、住んでよかった大刀洗町」をめざして③
～救急医療情報キット「いのちのボタン」の活用～
- P4 保育園のページ…テーマ:「地域とともに」
- P5 病後児保育のご案内
- P6 お知らせのページ…
・第3者委員会報告
・震災ボランティアに参加して



(大刀洗町社協シンボルマークです。)

赤い羽根共同募金

運動期間 10月1日～12月31日



共同募金は赤い羽根募金

「赤い羽根募金」は「共同募金」の愛称です。今年で65回目を迎えました。「赤い羽根」は運動が始まった頃は、寄付をしたことを表す印として使われました。現在は「共同募金」のシンボルとして幅広く使われています。

共同募金は民間の募金

共同募金は民間の募金ですので、税金とは性格も使われ方も違います。税金は全国的にどこでも同じ基準で公平に使われるのに対し、民間の募金は地域の実情に沿った柔軟な使われ方ができます。そのため、迅速に地域の福祉に対処できるという特徴を持っているのです。

また、共同募金は民間の社会福祉の資金として使われます。共同募金からの配分金によって民間社会福祉施設や社会福祉協議会などの社会福祉団体は様々な地域福祉活動を行っています。

平成22年度の共同募金実績は、3,664,037円でした。

これを受けて、社会福祉協議会では、今年度このような福祉事業を行っています。

- ・独居老人味噌配布事業
- ・老人クラブスポーツ助成金
- ・福教育読本配布事業
- ・福祉協力校事業
- ・社協だより配布事業
- ・母子寡婦福祉会助成事業
- ・老人クラブ助成金
- ・身体障害者福祉協会助成金
- ・保育園福祉推進事業
- ・ミニデイサービス事業
- ・車いすバスケット大会支援事業
- ・障害児を抱える親の会支援



(ミニデイサービス事業)



(身体障害者福祉協会)

福岡県共同募金会大刀洗町支会 (大刀洗町社会福祉協議会)

大刀洗町大字富多819 めくもりの館大刀洗内 電話/77-4877 Fax/77-6220

東日本大震災被災地復興応援募金報告 (~H23.8.31)

募金総額 **1,969,540円**

義援金協力者 大刀洗町連合婦人会・語ろう会・大刀洗小学校

お寄せいただきました義援金につきましては、中央共同募金会を通じ、被災地の生活復興に配分されます。社会福祉協議会では引き続き、平成24年3月末まで義援金を受け付けます。

『住みたい町大刀洗

住んでよかった大刀洗町』をめざして!③

～救急医療情報キット『いのちのボタン』の活用～



今回は、現在見守りの方法の一つとして各行政区で始まっている『いのちのボタン』事業について紹介します。

いのちのボタンとは?

この救急医療情報キット（いのちのボタン）設置事業は、高齢者世帯や障害者世帯において、救急搬送や災害等の緊急の事態が起きた場合に適切な処置が速やかに行われるよう、必要な情報（緊急連絡先や健康状態など）を早く伝えるためのものです。



いのちのボタンの使い方

緊急時に必要な情報がわかるよう、ボタンの中に入れたようなものを入れて冷蔵庫の中に保管しておきます。

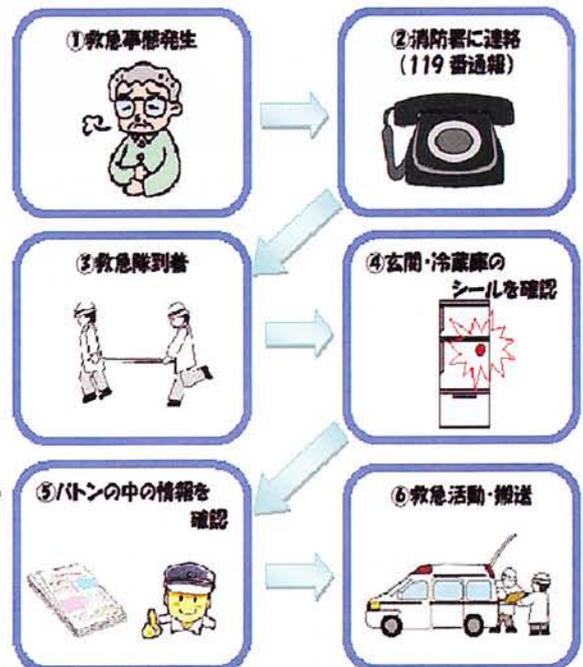
- ・健康保険証の写し
- ・かかりつけ医療機関の診察券の写し
- ・いつも飲んでいる薬がわかるもの（薬歴の写し）
- ・利用者本人と確認できる写真
- ・住民福祉台帳

いのちのボタンを利用するには

ボタン利用の対象者としては特に定めておりませんが、緊急時に受け答えできる家族がいない世帯（一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯）や、要介護者・障害者のいる世帯などに所持していただきたいと考えています。現在、各区の小地域協議会において、ボタンについてのお声かけを行っています。希望される方は、各行政区の民生委員が社会福祉協議会までご相談ください。

なお、ご利用にあたっては、簡単な聞き取り調査を行います。

「いのちのボタン」活用までの流れ



緊急時には、救急隊が冷蔵庫の中のボタンの情報を確認し処置を行います。

見守り方法も『直接顔を合わせる』『遠くから安否を確認する』など、対象者に合わせた見守りを行う必要があります。この『いのちのボタン』も見守りの道具の一つですが、一番効果的な見守りは『普段からの近所づきあい』です。

お互いに心地よい距離感を持って気を使える地域を作りましょう。



保育園のページ

テーマ：地域とともに

地域の行事に参加させてもらったり、いろいろなことを教えてもらったり、たくさんの地域の方々との体験やふれあいが子ども達の成長を応援してくれています。

大堰保育園

たくさんの方と触れあっています!!



8月6日(土)大堰校区の夏まつりに参加し地域の方々とふれあいました。年長児と年中児はおみこしをかつぎ、年少児と未満児はおみこしの後をうちわで応援しながら「ワッショイ・ワッショイ」元気に会場を回りました。その後保護者の方と一緒に「♪魚町・鳥町」「♪みんなで音頭」を踊りました。浴衣姿で踊る子ども達に「可愛かね～」と言う声をいただき、子ども達も満足気で笑顔いっぱいの楽しいひとときを過ごすことができました。

また、大堰校区「ホタルの里づくり」事業では、地域の方々と協力してホタルの餌になるカワニナやホタルの卵をふ化して幼虫を育てています。地域の方に飼育の仕方を教えていただいて子ども達も親しくなり「こんにちは」と元気な挨拶ができています。毎日楽しみに水槽をのぞき込み、カワニナやメダカに話しかけています。

9月10日には、夕方よりお声かけしてお月見会を開きました。

地域の方々に見守られご協力を得ながら、様々な体験を通して健やかに伸びている子ども達です。



本郷保育園

地域の中で大活躍!!

7月はじめ、年長児が老人福祉施設“フレグランス大刀洗”を訪問し、踊りを披露したり一緒に童謡を歌ったりしました。ふれあいタイムでは「♪ひつつきもつつき」という歌に合わせて、おしいちゃんおばあちゃんの肩をもんだり、握手をしたり、たくさん笑顔に触れ、温かいひとときを過ごすことができました。



7月31日には本郷神社の夏まつりに参加。手作りのおみこしを担いで町内を回り、保護者の方や地域の方々に応援をいただきました。夜の部はステージで踊りを発表、たくさんのお客様を前に「ドキドキする～」と緊張していた子ども達も最後までがんばって踊りました。

9月3日には本郷ふれあいまつりに出演し、となりのトトロでおなじみの「♪さんぽ」を歌いながら手話を披露。また、「エイサー」という沖縄の伝統的な踊りを格好良く踊り会場を盛り上げました。

地域の催し物に参加させていただき多くの方に見守られながら、元気にすくすくと育てている子ども達。これからも様々なことを経験させながら地域の方々との触れ合いを大切にしていきたいと思っています。



2011年10月よりスタート!

病後児保育のご案内

病気が回復期にあるお子さんを
看護師と保育士のいる保育室で
一時的にお預かりします。



対象となるお子様

- 次のすべてを満たすお子様
- ① 大刀洗町にお住まい、あるいは保護者が大刀洗町にお勤めのお子さんで生後3カ月から小学校3年生までのお子さん
 - ② 病気の回復期にあり、集団での保育が困難なお子さん
 - ③ 保護者の仕事等の都合により、家庭での育児が困難なお子さん
 - ④ 医師からの病状連絡票（診断書）があるお子さん

利用内容

- 【保育定員】 2名程度(病名ごとに部屋をわけてお預かりします。)
- 【保育時間】 月～土曜日の午前8時00分～午後6時00分
日曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)を除く。
- 【利用料金】 5時間以上/2,000円 5時間未満/1,000円
次の方には減免制度があります。
○生活保護世帯 ○市町村非課税世帯
- 【実施場所】 病後児保育センターこどもハウスすこやか
大刀洗町大字本郷899番地3 (本郷保育園となり)

利用の流れ

① 登録

あらかじめ登録が必要です。(無料)
「登録申請書」をご記入のうえ、役場健康福祉課またはこどもハウスすこやかに提出してください。
(印鑑・健康保険証・母子手帳をお持ちください。)
※申請用紙は、役場健康福祉課、各学童保育、各保育園にあります。

② 予約

ご利用希望の前日までに予約をお願いします。
病後児保育センターこどもハウスすこやか 電話：77-5851
<予約受付時間> 午前8時00分から午後6時00分まで

③ 診察

かかりつけの病院を受診し、「病状連絡票」をもらってください。

④ 利用

利用の際に、「利用申請書」と「病状連絡票」を提出してください。

⑤ 終了

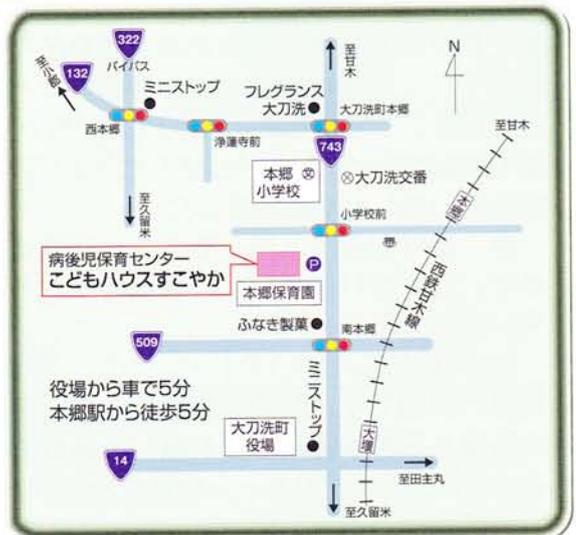
お迎えの際に、利用料を納めてください。

—お問い合わせ先—

病後児保育センター こどもハウスすこやか

大刀洗町大字本郷899番地3 (本郷保育園となり)

TEL/FAX 0942-77-5851



この事業は、社会福祉協議会(本郷保育園)が、大刀洗町より委託を受けて実施します。

第三者委員会における苦情解決結果の報告

社会福祉協議会では、利用者からの苦情に適切に対応する体制を整え苦情解決に努めています。平成22年度から当日までの苦情受付について、8月18日(木)の第三者委員会において各事業所の苦情受付責任者と第三者委員で協議した結果、「希望」もしくは「要望」が数件ありましたが苦情受付までには至らなかったことを報告します。

なお、苦情の受付は面接・電話・書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。また、第三者委員に直接苦情を申し出ることもできます。

苦情解決責任者	村山真知子（社会福祉協議会 事務局長）	Tel77-4877
	渡辺 澄子（大堰保育園園長）	Tel77-1402
	弥永 敏枝（本郷保育園園長）	Tel77-2220
苦情受付担当	池松 昌亀（社会福祉協議会福祉活動専門員）	Tel77-4877
	長野 美子（大堰保育園 主任保育士）	Tel77-1402
	野田ひとみ（本郷保育園 主任保育士）	Tel77-2220
第三者委員	平城 悦子（社会福祉協議会 監事）	Tel77-0158
	林 安重（社会福祉協議会 評議員）	Tel77-1044
	平田真裕美（主任児童委員）	Tel77-2635

（任期：平成23年4月1日～平成25年3月31日）

7月下旬、下高橋在住の坂田江美さんが東日本大震災の被災地へボランティアに行かれました。以下に坂田さんが被災地で体験したことや感じたことなどを報告してもらいましたのでご紹介します。

震災ボランティアに参加して

下高橋 坂田 江美

日本に住む一人として被災地を見て何かできる事をしたいという気持ちで今回ボランティアに参加しました。また合唱曲の作詩をしている私は、行かなければ詩など書けないという思いもありました。

一日目は陸前高田^{おさべ}長部地区で黙祷をした後約60名で畑の瓦礫掻きをしました。海岸から2～3kmの山肌に水産工場から津波で流された大量のサンマが腐って堆積し、ハエやカモメが群がる光景は異様で、また懸命に片付ける人々の姿は感動的でもありました。残り二日、仮設住宅前に足湯場を作り被災者の方々とお話した時間は苦しくも大切な経験になりました。「高田松原がバリバリとなぎ倒されるのを“皆速く逃げて”と泣きながら見てた…」「目前で妻が流された…」心の奥底の深い悲しみを感じました。

今、ありがたいと言って下さった強く優しいお年寄りの顔が浮かびます。しっかり生きなくてはと誓ったその時の決意を忘れたくないと思います。

「被災地を忘れないで」どころか、今原発は私達の生命に関わる地球規模の課題です。町の図書館にも震災関連の本が多くあります。福岡の私達も写真や言葉に触れ感じる事ができます。それが被災地を支える「ボランティアリレー」を繋ぐ力になるのではないかと思います。



陸前高田の「一本松」
(イラストも坂田さん)

※7月24日～28日 日本財団主催、岩手県陸前高田市において瓦礫撤去と心のケア・傾聴を目的とした「足湯」ボランティアに個人参加。